

## 工事請負契約の締結について (仮称) 市道53号線バイパス 道路新設工事その1・2

圏央道海老名ICへのアクセス道路、都市計画道路河原口中新田線に集中する大型車両などの分散化を目的にバイパス道路を整備するもので、全員賛成で可決されました。総務常任委員会での審査概要は次のとおりです。

**問** 条件付き一般競争入札の参加条件について伺います。

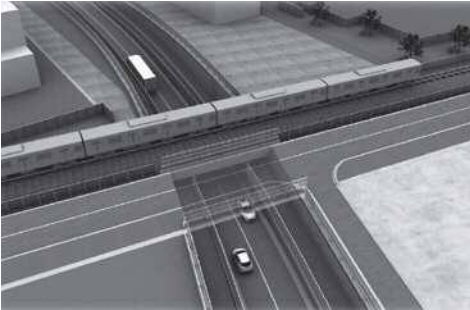
**答** 営業種目は土木一式、経営事項審査は900点以上発注区分は第4区分です。その他の主な要件としては、JR東日本の鉄道営業線近接工事の履行実績、さらに土どめ仮締め切り工事を含む高さ5メートル以上の現場打ちコンクリート擁壁工事の履行実績です。

**問** 工事概要にある道路附属施設工1式の内容と信号機などの設置による交通安全対策について伺います。

**答** 点字ブロック、歩道と車道を分離する境界ブロック、道路照明灯などです。信号機は、運動公園側の交差点に設置します。下今泉門沢橋線側の信号機は、今後発注予定の交差点改良工事の中で設置する考えです。

**意見** 条件付き

一般競争入札で、条件が多くなると該当業者が少なくなるともあり、市内業者が鉄道近接工事の実績を積めるよう、一次下請けで使ってもらうような配慮をお願いします。また、地域の住民も期待している工事なので、安全に気をつけながら進めていただきたい。



安全に配慮した施行を

## 海老名市奨学金条例の一部 改正について

経済的理由により就学が困難な世帯への就学支援を目的として行う奨学金給付事業について、学習成績に関わらず学習意欲が高ければ受給できるよう奨学金の対象範囲を広げるもので、全員賛成で可決されました。文教社会常任委員会での審査概要は次のとおりです。

**問** 経済的な理由により就学が困難な世帯とは、どのような世帯ですか。

**答** 生活保護受給世帯の収入額を基準に、その収入額の1.2～1.5倍の世帯です。

**問** 給付の時期はいつですか。また、平成28年度の給付実績はどのくらいですか。

**答** 年額12万円を6月下旬に給付しています。給付実績は、平成28年度の申請44名のうち40名に給付しました。

**問** 奨学生選考委員会の構成メンバーについて伺います。

**答** 民生委員の代表者1名、小学校長の代表者1名、中学校長6名、県立高等学校校長1名の9名です。

**問** 想定される奨学金の使われ方はどのようなものですか。実績として、勉強に関わる参考書や部活動、学校行事などに必要な経費、交通費などです。

**意見** 子どもや若者の貧困問題や世代間格差など重大な問題となっている中、時代の流れに沿った改正と考えます。学費がより多くかかる私学へ通う世帯に対して更なる給付の検討や給付時期の検討など引き続き研究をしていただきたい。

この改正によって対象者の範囲が広まることは、子ども達の夢の実現や未来の可能性を広げることにつながる支援と考えます。必要とする世帯に対して周知漏れがないよう周知方法を工夫し、進めていただきたい。

## 海老名市公共下水道事業の 設置等に関する条例

人口減少、施設・設備の老朽化などを踏まえ、持続的かつ安定的に公共下水道事業を運営し、住民サービスを提供するため、公営企業会計移行への必要な事項を定めるもので、賛成多数で可決されました。経済建設常任委員会での審査概要は次のとおりです。

**問** 県内自治体の公営企業会計導入の状況について伺います。

**答** 現在、横須賀・秦野・座間市が公営企業法の全部適用、横浜・川崎・相模原・平塚・藤沢・小田原・茅ヶ崎市、寒川町が一部適用で既に移行しています。

**問** 公営企業会計導入による複式簿記移行への職員体制強化への考えについて伺います。

**答** 複式簿記の知識を得る研修や企業会計に精通する職員の育成のための研修を実施してきました。現行体制のままでは一致団結して移行に臨むことが必要であると考えています。

**問** 今後、下水道施設の維持管理はどう変わっていきますか。

**答** 整備した固定資産台帳や財務諸表を活用して、耐用年数を迎える施設の長寿命化や更新について、具体的な事業計画を策定したいと思っています。

**意見** 公営企業会計となることで、これまでより機動的な運営や、独自の取り組みが可能となることから、これからの問題・課題点をクリアしながら取り組まれることを望む。という意見のほか、

職員の賠償責任について、地方自治法第243条の2の規定により、全部または一部を免除することができると規定を条文に明文化すべきである。といった意見もありました。